

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AM314／文学講義 14 (Lectures on Literature 14)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	シェイクスピア2		
担当者名 (Instructor)	末廣 幹(SUEHIRO MIKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EAL2300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

この講義の目標は以下の2つです。

- 1 シェイクスピアの戯曲を英語と日本語訳で読みながら、特定の台詞や場面の意味が解釈できる。
- 2 シェイクスピア演劇の上演や映画化を観たときに、特定の場面の演出に、演出家や映画監督のどのようなテキスト解釈や演出意図が反映されているか考えることができる。

This course aims to achieve the following 2 goals:

- 1 Teach students how to interpret the meaning of specific lines and scenes from Shakespeare plays while reading the scripts in both English and Japanese.
- 2 Enable students to consider what interpretations theater producers and film directors drew from the text based on what is being shown to the audience during specific scenes when viewing theater productions or film adaptations of Shakespeare plays.

#### 授業の内容(Course Contents)

講義のテーマは、「シェイクスピアと現代文化～Shakespeare Meets Contemporary Culture」です。2016年は、イギリスの劇作家ウィリアム・シェイクスピア(1564-1616年)の没後400周年に当たりましたが、シェイクスピアの演劇の人気は、彼がロンドンの劇壇で活躍していた頃からほぼ400年以上経った現在でもまったく衰えることなく、本国イギリスのみならず、全世界で毎年上演され、さらに続々と映画化されています。この講義では、シェイクスピアの演劇の映画版や上演のビデオやDVDを観ながら、シェイクスピアの原書と翻訳を読みながら、講義していきます。この講義では、シェイクスピア演劇の中からとくに喜劇と悲劇を選んで講義します。「喜劇」の中からロマンティック・コメディの代表作と呼ばれている『十二夜』を、悲劇の中から『オセロー』を選んで講義します。

The theme of this course is “Shakespeare Meets Contemporary Culture”. 2016 marked the 400th anniversary of the death of British playwright William Shakespeare (1564-1616), and the popularity of his works and their prominence in London’s theater scene have yet to wane in the over 400 years since their debut. Shakespeare’s works still feature in theater productions every year in both the UK and other countries worldwide in addition to the steady flow of film adaptations. In this course, students will watch DVDs of film adaptations and theater productions of Shakespeare’s works as well as read both their original texts and translations. Particularly, I will choose both comedy and tragedy out of Shakespeare’s four genres.. *Twelfth Night* is the comedy selection for this course, and it is highly appreciated as Shakespeare’s representative romantic comedy. Students will also read *Othello* among Shakespeare’s tragedies.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション——映画に現れる映像の文法とは
2. トレヴァー・ナン監督『十二夜』鑑賞(1)女優による〈男装するヒロインの演技〉
3. トレヴァー・ナン監督『十二夜』鑑賞(2)喜劇のエンディングの問題性
4. 『十二夜』第1幕、第2幕講義
5. 『十二夜』第3幕、第4幕、第5幕講義
6. 『オセロー』第1幕、第2幕講義
7. 『蜷川幸雄演出『オセロー』上演DVD第1幕、第2幕鑑賞
8. 『オセロー』第3幕講義
9. 蜷川幸雄演出『オセロー』上演DVD第3幕鑑賞
10. 『オセロー』第4幕講義
11. 蜷川幸雄演出『オセロー』上演DVD第4幕鑑賞
12. 『オセロー』第5幕講義
13. 蜷川幸雄演出『オセロー』上演DVD第5幕鑑賞
14. 総括——近年のシェイクスピア劇の上演と映画化

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

予習としては、映画鑑賞と並行して原作を読んで、その特徴を把握しておくことが求められます。  
復習としては、Blackboardにアップロードした講義資料に基づいて、映画が原作の場面や台詞をどのように異なる演出をしているのかを把握し、その意味の相違について解釈することが求められます。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(60%) / 授業内リスポンス・ペーパー兼出席票(40%)  
なお、単位修得のためには、全14回の講義中10回以上の出席を必要とします。就職活動やその他の理由による欠席にはいっさい考慮しません。毎回講義終了後にリスポンス・シートを提出して貰って、それによって平常点の評価を行います。すべての項目が書かれていなかったり、2、3行しか書かれていなかったり、講義を聴かなくても書けることしか書かれていないシートは、平常点を減点します。

#### テキスト(Textbooks)

なし

#### 参考文献(Readings)

1. Margreta De Grazia et al., 2010, *The New Cambridge Companion to Shakespeare*. Cambridge University Press (ISBN:0521713935)
2. 喜志哲雄、2008、『シェイクスピアのたぐらみ』、岩波書店 (ISBN:4004311160)

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

#### 注意事項(Notice)